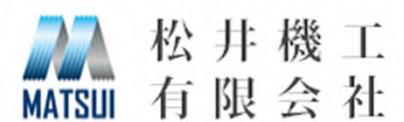


医療機器分野における部品加工の取引の拡大にむけた準備

会社名 松井機工有限会社
 所在地 三重県度会郡玉城町下田辺890
 従業員 12名
 資本金 300万円
 売上高 1億3,000万円
 業種 金属加工業(CNC自動旋盤・カム式自動旋盤による細物小物精密金属切削)



Before

- Go-Tech事業で開発する製法/技術を生かすことをきっかけに、医療部品加工の事業拡大を目指す。将来的には、他社にまねができない高付加価値部品を提供できる企業になることを目指す。

Go-Tech事業(成長型中小企業等研究開発支援事業)

After

- 医療関連事業の中長期的な取り組みの方向性を議論する中で、より重視すべき提供価値としての「提案力」を更に磨くべく、提案できる人材を社内に複数名確保することに着手するとともに、その提案を自社独自の知財として守るイメージをつかんだ。

Future

- 自社独自の知的財産を確保しつつ、医療分野における部品加工の取引を拡大していく、将来的には、微細加工技術を更に他業種へと展開していくことを目指す。

加速的支援を受けた事業や商材

医療関係部品作成

- ・穿孔機アダプター
- ・SUS304 部品3点結合品



主軸移動形CNC自動旋盤にて細物加工

- ・主軸移動型のため、細くて長い製品に対しても高精度
- ・細物に起こりがちな、タワミによる突切り面の不具合。自社製作刃物を使用して、突切り面もきれいに仕上げます。



自社では、職人技と高精度機械の組合せにより、金属の微細加工技術に強みを持っている。錠前シリンダー部品や電気錠各部品などの精密切削加工を長年にわたり行ってきた中で、近年は要望が増えてきた多品種少量生産にも対応し、2個～5万個/月の多品種の小～中ロット加工も行っている。

細径小物金属切削技術、刃物の特殊形状研磨技術、専用治具作成技術などの実績を多数持ち、大手医療機器メーカーからの、部品開発に関する引き合いも得ている。



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略・ビジネスモデルの具体化	Go-Tech事業に採択されており、十分に検討された事業計画を保有している中、知財戦略強化も含めた形で確実に実行できる事業計画に仕立てていく余地があった。
体制強化	少数先鋭の体制で、5S活動などにも接客的に取り組まれているが、新規開発・顧客対応など、更に組織強化が必要であった。
医療品品質管理強化	医療機器メーカーとの取引実績がある中、より良い医療部品品質管理に向けて専門家の視点も含めて確認しておくことが、自社への信頼につながると考えられたため。
知財戦略の検討	新規開発の経験は豊富である一方、特許出願の経験は限定的であったため、今後の事業拡大を見据えると、知的財産権の戦略的な取得・活用が必要になると考えられたため。



加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略・ビジネスモデルの具体化	<ul style="list-style-type: none"> 医療関連事業の中長期的な取り組みの方向性を議論するとともに、今後より意識すべき提供価値としては「提案力」であることの認識に至り、アクションへの落とし込みを図るに至っている。 	中小企業診断士 弁理士
体制強化	<ul style="list-style-type: none"> 社長に業務が集中していた中、OJTを中心に、他の担当者にノウハウ(例:提案力に通じる考え方等)を広め、対応できる社内担当者を増やす取り組みに着手した。 	中小企業診断士 弁理士
医療品品質管理強化	<ul style="list-style-type: none"> リスク分析の手法も活用して生産工程を改善する視点を得た。 出荷検査等の在り方を改善し、品質を担保しつつ円滑な取引を実現する方策(案)を検討するに至った。 	医療系行政書士 中小企業診断士
知財戦略の検討	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権の種類や保護対象の種類について理解を深めるとともに、自社におけるオープン&クローズ戦略や営業秘密管理の在り方について取り組みのイメージをつかむに至った。 研究開発事業において他社と連携している中、知財紛争リスクへの意識を高めた。 	弁理士

支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 東條寮

活用専門家: 弁理士、医療系行政書士

知財総合支援窓口担当者: 三重県知財総合支援窓口 村上 一仁

PO(プログラムオフィサー): 中泰広